



TOHOKU  
UNIVERSITY

URA / 知の創出センター 連携企画

「東北大学文系4研究科 人文・社会科学における知の創出セミナー」

# Quattro Seminars

— 第2回 —

講師：

経済学研究科 教授

同サービス・データ科学研究センター長

照井 伸彦

## 学際的科学の方法：統計学の新潮流 —ビッグデータとスモールデータのアナリティクス—

日時：

2014.

11/26 (水) 16:30~18:00

会場：

東北大学川内南キャンパス 文科系総合研究棟  
2階206室

※懇親会 (18:00~19:00) 会費：500円

講演会・懇親会の参加申込：クワトロセミナー事務局

[quattro\\_admin@ml.tohoku.ac.jp](mailto:quattro_admin@ml.tohoku.ac.jp)

\*当日会場での申込も可能です。



クワトロセミナー事務局：

河合 晃一 (教育学研究科特任助教/文系URA)

塩谷 芳也 (知の創出センター特任助教、プログラムコーディネーター)

詳細情報URL：

[http://www.tfc.tohoku.ac.jp/  
quattroseminar/](http://www.tfc.tohoku.ac.jp/quattroseminar/)

URA/知の創出センター連携企画「東北大学文系4研究科 人文・社会科学における知の創出セミナー」(通称: Quattro Seminars(クワトロセミナー))は、東北大学での人文・社会科学の研究力強化を目指して、全学的な視点から領域横断的な研究交流を行うセミナーです。



「東北大学文系4研究科 人文・社会科学における知の創出セミナー」(通称:Quattro Seminars)

第2回

日時 |

2014年11月26日(水) 16:30 -18:00

場所 |

東北大学川内南キャンパス 文科系総合研究棟2階206室

講演タイトル |

学際的科学の方法：統計学の新潮流 —ビッグデータとスモールデータのアナリティクス—

Karl Pearson著, The Grammar of Science(科学の文法)(1892)で規定されたように、統計学は、実証科学の文法・共通言語としての方法論を提供しています。1920年代以降 R. A. Fisherらにより整備されてきた統計的推測理論の枠組みは、大量生産の現場における「集団の平均的性質」を知る手段として機能してきました。その後、IT革命により生み出されるビッグデータは、規格化された大量生産の時代から多様化した価値に対応する個別化・個性の時代への変化をもたらし、集団の中の「個の性質」が推測対象となってきました。このとき、増大するデータ量とともに複雑化する課題を、ビッグデータにおいても、「個」に関する情報が依然として少ないスモールデータのときでも、解決できる新しい統計手法が求められ、計算機の高度化・普及と同期する形でベイズ統計学が発展しました。これは様々な学問領域で幅広く応用され、その勢いは増す一方です。本報告では、上記を含めたビッグデータ時代の統計分析を紹介し、あわせて、人文・社会科学系の実証分析において今後適用が期待される分析法についての私見もお話したいと思います。

講師 |

照井 伸彦 (経済学研究科教授、同サービス・データ科学研究センター長)

東北大学大学院経済学研究科博士課程修了。山形大学人文学部専任講師・同助教授、東北大学経済学部助教授を経て、現職。この間、ミネソタ大学経済学部、テキサスA&M大学統計学部、エラスムス大学ティンバーゲン研究所、オハイオ州立大学ビジネススクールで在外研究、国内では統計数理研究所・予測制御研究系・客員助教授、2012年より情報・システム研究機構 統計数理研究所客員教授を兼任。The Tjalling C. Koopmans Econometric Theory Prize (1992)、第18回 日本統計学会賞 (2013)を受賞。主な著書に、「Rによるベイズ統計分析」朝倉書店、「ベイズモデリングによるマーケティング分析」(東京電機大学出版局)、「統計学(共著)」有斐閣、(共著)「非線形経済時系列分析法とその応用(共著)」(岩波書店)、「計量ファイナンス分析の基礎(共著)」朝倉書店、などがある。日本学術会議連携会員。

講演会・懇親会への参加申込 | クワトロセミナー事務局 (河合 / 塩谷)

[quattro\\_admin@ml.tohoku.ac.jp](mailto:quattro_admin@ml.tohoku.ac.jp)

\*当日会場での申込も可能です。

詳細情報URL |

<http://www.tfc.tohoku.ac.jp/quattroseminar/>